

平成29年度 第2回大和市環境審議会 議事録

I. 開催日時 平成29年8月28日(月) 午後2時～午後3時30分

II. 開催場所 大和市役所本庁舎5階 第5会議室

III. 出席状況 委員 9人

池田勝彦委員(会長)、高橋政勝委員、(職務代理)内山和子委員、
小川幸一委員、斎藤久美子委員、四ノ宮和仁委員、鈴木澄子委員、
松本正重委員、山本やす子委員

事務局：環境農政部長ほか10人

IV. 公開・非公開の状況

公開 非公開 一部非公開

V. 審議又は検討の経過及び結果

A. 会議次第

1 会長挨拶

2 議題

(1) 大和市環境基本計画改定に関する情報提供

3 その他

B. 審議内容など

・大和市環境基本計画改定にむけて情報提供を行い、質疑を行った。

(※資料等は複数ページに渡るため掲載しておりませんが、市役所環境総務課で閲覧できますので、事前に連絡のうえお越してください。)

(1) 大和市環境基本計画改定に関する情報提供への意見・質疑等

委員：今年の秋から空母艦載機部隊の拠点が、厚木基地から岩国へ移ると言われており、平成30年以降は騒音が少なくなるのではと考えられるが、防衛省から自治体へはなにか情報は入っているのか。

事務局：今年から来年にかけて岩国へ移転する予定との情報提供は受けているが、それによりどのような変化が生じるかが不透明である。大和市から防衛省への情報提供依頼はもちろん、引き続き状況を見ていく必要があると考えており、計画改定もそれを踏まえて検討していく。

委員：大和市中で、やまとエコアクション21に登録している業者はどれくらいあるのか。

事務局：今年の8月時点で、8事業所である。

委員：思っていたより少ない。登録の審査が厳しいのか。

事務局：認定、更新などの経費はかからないので、ハードルはそんなに高くないと思われる。基本的には身近な環境配慮の取組みをまとめた環境行動計画をだしていただければ認定され、登録は8事業所となっている。

委員：色々な要素があり、行政としてできること、市民として、企業として、とそれぞれあるが、エコアクション21などは、企業はなかなかやらないのではないか。バックグラウンドを見て目的をはっきりとさせ、例えば、認定されていれば市の競争入札で有利であるなど、インセンティブがなければ民間企業では難しい面もあるので、市が率先してそういったものを取得してはどうか。それから、施策方針についても、国で行うもの、市で行うもの、例えば基地の問題については主体になって動いている課があると思うので、そういったことをはっきりとさせて改定案を作ってもらいたい。

事務局：現行計画ではISO14001の認定のみが数値目標となっている。ISO14001はハードルが高いので、他にエコアクション21や、やまとエコアクション21を取り入れることを考えている。

委員：ISO14001もエコアクション21も最近では認定の申請数が少ないと聞いている。最初はとびつくが、その後が続かない。

事務局： 方向性としては、環境に配慮した活動をしている事業者をもっと広げたい。それには ISO14001 の取得事業所だけでは測り切れない。現状では取得するのにコストなどもかかり、なかなか事業者の手が上がりにくい ISO14001 に限らず事業者が取り組んでいる様々な環境配慮活動も、くみ取る必要があると考えている。

委員： 今後のスケジュールでは改定案に対する諮問となるが、まとまり切った改定案をいただいても、すべての項目を審議するのは難しいので、審議する時間も鑑みて、次回の審議会では、審議してほしいポイントを示して頂きたい。

委員： 資料1の「4. 次期大和市環境基本計画の骨格」の中で新しく統合される大和市地球温暖化対策実行計画はスケールが大きな計画のようだが、こういった方向で計画を立てていくのか方向性を伺いたい。

事務局： 地球温暖化対策実行計画は、区域施策編という大和市全体で取り組んでいくもの、事務事業編という市役所で取り組んでいくものと大きく二つに分けられる。区域施策編では大和市全体でどれくらい温室効果ガスを減らしていくかといったことをあげている。国では2030年までに2013年比で26%の削減を掲げており、県では同じく2030年までに2013年比で27%削減を目標としている。大和市は今分析している最中だが、各市によって産業構成も違うので、どの程度、国や県に準じるべきなのか検討している。項目内容が漠然としており、捉えどころがない気がするが、温室効果ガス削減が目標であり、電気使用量などを基にした計算式で温室効果ガスの量を算出しているの、省エネ生活を心がけるなど、削減目標をもって取り組んでいくということである。

委員： 大和市の話であることが今の説明でわかったが、タイトルを具体的にした方がわかりやすいのではないか。地球温暖化対策と聞くと漠然としているので、わかりやすい名称にした方が理解しやすいのでは。

事務局： 「地球温暖化対策の推進に関する法律」の名称を使用して計画を策定しているので、ご意見を参考にして検討したい。

委員： エネルギーの地産地消などに目をむけてはどうか。太陽光発電を取り入れている世帯や事業所の割合、又、事業所で再生可能エネルギーをどれくらい取り入れているかなど、具体的に示さなければ、一市民として何をしたらいいのかわからない。

委員：グローバルな地球温暖化問題も大切だが、大和市は大和市の問題をしっかりとだすことで、もっとわかりやすくなるのではないか。地球全体としては温暖化が進んでも、大和市では努力して温室効果ガス削減が進んでいるという場合もあると思う。様々な実績があると思うので、今までの具体的な数値を活かすのも良いと思う。

委員：大和市は地域によって、人口増加が著しい。短期間にすさまじい勢いで人口が増え、そういった地域のごみの処理量などの具体的な問題もあるので、市で数値をとってはどうか。

委員：駅前の動線や近隣の商店、施設の整備など、様々な問題も生じてくるので、全体を対処するのは難しいと思うが、計画改定でそこに触れるのも良いのでは。

委員：人口増加は住みやすいということなので、市としては良いことだと思うし、福祉の充実の表れだと考えている。そこで起こる問題については行政がきちんとした対応をしていくしかないと思う。

(2) その他

・みどり公園課より平成29年度第1回環境審議会の資料の間違いについて、訂正部分を説明した。

委員：収支決算概要の訂正について、収支報告は大変重要な部分なので次回からは十分に精査して提出してほしい。

・質疑終了後、次回の環境審議会の開催予定について説明をした。

<閉会>